

平成26年度 スーパーグローバル大学等事業 スーパーグローバル大学創成支援
審査結果表

大学名	立教大学	申請区分	タイプB
構想名	グローバルリベラルアーツ×リーダーシップ教育×自己変革力 ―世界で際立つ大学への改革―		

〔評価コメント〕

本構想は、大規模大学でありながら質の高い全学共通プログラムとしてデザインされており、カリキュラム改革という点では非常に先進的な取組であり、貴学らしいリベラルアーツ教育の構築を目指しつつ、大学が直面する課題の分析に基づいた全学的な改革構想として評価できる。特に、30単位以上修得することが必要な「全学共通カリキュラム」は、1クラス8名で展開する「英語ディスカッション」等、新しいグローバル人材を育成する上で実効性の高い活用がなされている。

また、グローバル意識指数の導入はユニークな取組と言える。大学独自の成果指標と達成目標についても、数値化しにくい指標を極力数値化する工夫がなされており、指数の活用に注目したい。更に、池袋・新座キャンパス周辺商店街のグローバル化支援等、地域連携、地域の国際化への波及効果も考慮された実践的な構想となっている。

一方で、多くの関係機関が新設されるため、既存組織との関係をより明確にする必要があるほか、国際通用性を担保するための最新のスキル開発プログラムやリーダーシップ等へのアプローチ、グローバル・リベラルアーツプログラムの到達度評価についての更なる明確化、世界的観点からの学位の質保証への対応等今後の検討が必要である。

また、留学に関しては、在学中に一度は留学という高い目標設定を実現するための取組、国際的に優秀な外国人留学生を集めるための取組、海外大学との相互連携・協力関係構築に向けた取組が今後の課題として対応が必要である。

大学院においても、英語による授業科目数や英語のみで卒業できるコース数、日本人大学院生の海外留学経験者数において一層の充実が必要である。

最後に、今回「スーパーグローバル大学創成支援」に採択された貴学におかれては、10年後の大学の姿を見据え、徹底した「大学改革」と「国際化」を断行し、我が国の高等教育の国際競争力の向上に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、構想内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。